

典子は、今

松山善三監督作品 主演・辻 典子



撮影・立木義浩



●●●
厚生省
後援
協賛
障害者年
作品
●●●
総理府

製作 ● 高橋松男
題字 ● 辻 典子
企画 ● 財團法人日本委員会
製作 ● 柴田輝二
協力 ● 日本委員会
製作 ● キネマ東京
● シバタフィルム
協給 ● プロモーション
● 東宝株式会社

《今秋》ロードショー

●有楽町元日劇前

ニュー東宝シネマ2

TEL (571) 1947

193043-202

解

説

昭和三十七年をピーカーに三百六
まれた。辻典子もその一人である。しかし彼
女はその不運と障害を乗りこえ、己れの能力
を十分に伸ばして熊本市役所・一般事務職に
合格した。昭和五十五年春、競争率二十六倍
の難関を突破しての快挙である。

映画「典子は、今」はサリドマイド児・辻
典子の「出生から青春へ」を、ドラマとドキュ
メントの手法を駆使して映画化するもので、
意図するものは人間への「讃美」ではない。
身障者への「哀歌」ではない。

典子の「足」を「手」にかえた日常がその
ままこの映画のドラマである。

人々は彼女を見
ることで、眞の勇気・眞の努力の何たるか
を知るだろう。

この映画の演
出を手がけるのは名もなく貧しく美しく以
来、身障者問題をテーマに数々の秀作を発表し
てきた松山善三。

人々は彼女を見
ることで、眞の勇気・眞の努力の何たるか
を知るだろう。

この映画の演
出を手がけるのは名もなく貧しく美しく以
来、身障者問題をテーマに数々の秀作を発表し
てきた松山善三。



典子は、今



松原典子	辻
春江	渡辺美佐子
少女時代の典子	若命真裕子
春江の夫	長門裕之
市立高校の校長	伊豆肇
松橋養護学校校長	下条正巳
碁台小学校校長	鈴木瑞穂
廣瀬先生	樺山文枝
富永つね	鈴木光枝
「健一」	三上寛
楠教師	河原崎長一郎
撮影	高橋輝二
照明	柴田善三
脚本・監督	松山利男
音楽	森岡賢一郎
录音	石原興
スタッフ	中島浩一
スチール	廣瀬浩一
題字	辻典子
ビスタサイズ・カラー作品	渡辺美佐子

キャスト



出演は母親役に渡辺美佐子、そして長門裕之、
河原崎長一郎、樺山文枝、三上寛らベテラン
異色演技陣が脇を固めている。松山監督の夫
人でもある高峰秀子が助監督として辻典子の
演技指導にあたる一方、写真家、立木義浩が
はじめて映画のスチールを担当する。

二十世紀へ向けてのビジョンを提言する
目的で国際シンポジウム・芸術祭の開催など
を行ってきた二〇〇一年日本委員会が企画、
「ガム回廊の朝」「生きてん、母ちゃん」の
キネマ東京が製作、シバタフィルムプロモー
ションが製作協力、東宝が配給する感動の人
間歌舞である。

典子は大学へ進んでデザイナーになる夢を
抱いていた。しかし、ある日年老いた母の姿を
まのあたりにして典子は決心した。

「今日からなんでも自分でやつてみる。お
母さんの手はもうかりない」

熊本市役所が公務員を募集していた。典子
は二十六倍の難関を突破して、見事に合格し

高校卒業も間近いある日、
葉にクラス全員は息をのんで
聞き入っていた。

「人間には手と足が二本ず
つあるのだと私がはじめて気
付いたのは五才の時でした」

「両腕のない典子に小学校入
学の壁は厚かつた。

あの時、最後の望みを託し
た碁台小学校の先生が入学を
許可してくれなかつたら、典
子の人生は別のものになつて
いたのかも知れない。

それ以来、典子も母も失われた両手をくや
むことなく、残された足で何が出来るかに挑
み続けた。箸の扱いも習字もそろばんも、運
動会の玉入れさえも典子の足は手以上の働き
をした。

典子の旅は自分の障害を他人に耐
えなければならない。通りすがりの人に自
分の障害を説明し、助力を頼むことではじめ
て切符が買え、駅弁を食べることが出来る。
典子は広島にたどりついた。たつた一人の
はじめで世間へのチャレンジであった。そ
して典子は富永みちこが自殺して世を去つた
ことを知つた。みちこの兄健一は典子を釣り
に誘つて、妹は障害に負けたのだと語つた。
そして「お前は死ぬなよ。負けるなよ」と涙
ぐんだ。典子の竿に激しい当りが来た。横転
しながら足で竿を上げる。尺余のはまちが宙
に舞い小舟の中を跳ねまわる。魚を抱えこん

だ典子の胸に生命の躍動が伝わってきた。

その夜典子は一人で旅に出
ると母に告げた。世間は決し
てやさしくない。いずれ一人
で生きていかなければならな
いのだから、いま一人で旅を
してみよう。典子は文通を続
けていた広島の障害者、富永
みちこを訪ねようとした。

典子の旅は自分の障害を他人に耐
えなければならない。通りすがりの人に自
分の障害を説明し、助力を頼むことではじめ
て切符が買え、駅弁を食べることが出来る。
典子は広島にたどりついた。たつた一人の
はじめで世間へのチャレンジであった。そ
して典子は富永みちこが自殺して世を去つた
ことを知つた。みちこの兄健一は典子を釣り
に誘つて、妹は障害に負けたのだと語つた。
そして「お前は死ぬなよ。負けるなよ」と涙
ぐんだ。典子の竿に激しい当りが来た。横転
しながら足で竿を上げる。尺余のはまちが宙
に舞い小舟の中を跳ねまわる。魚を抱えこん

だ典子の胸に生命の躍動が伝わってきた。

楠教師

撮影

照明

脚本・監督

音楽

录音

スタッフ

スチール

題字

ビスタサイズ・カラー作品